

## エネルギー分野推進戦略 骨子(構成段階案)

H13.8.6時点

分野の状況	<p>我が国のエネルギー供給構造は依然脆弱な上、地球環境問題への対応、エネルギー供給の効率化によるコスト低減の要請が加わり、エネルギー政策は、3つのE(環境、安定供給、経済性)の同時達成が基本的目標。</p> <p>こうした状況下、科学技術は新たな技術オプションを提供することにより、3E達成に貢献する役割を担う。</p>
重点化の考え方	<p>3Eの達成に向け、科学技術が新たな技術オプションの提供をするに当たっては、エネルギーシステムの特質から、安全・安心、国際競争力の視点、国際的な視点的な視点、国際競争力の視点への配慮が必要。</p> <p>重点化には、社会経済に適合するエネルギー源の多様化、エネルギーシステムの脱炭素化、エネルギーシステムの効率化及び基盤科学技術の充実が基本的視点。</p>
重点領域	<p>供給、輸送、変換、消費のエネルギー・トータルシステムの変革をもたらす研究開発</p> <p>例:水素社会構築のための研究開発 等</p> <p>エネルギーインフラを高度化していくため必要な研究開発</p> <p>例:分散型エネルギー源・エネルギー輸送・変換・貯蔵等の新技術のための研究開発 等</p> <p>エネルギーの安全のための研究開発</p> <p>例:エネルギーのあらゆる側面において安全を確保し国民の安心を得るための研究開発。原子力安全に関する研究開発、高レベル放射性廃棄物処分のための研究開発 等</p> <p>エネルギーを社会的・経済的に評価・分析する研究</p> <p>例:長期大規模研究開発に関する社会経済的側面を含めたフュージビリティ研究、社会とのリスクコミュニケーションの研究 等</p>

<p>推進方策</p>	<p>人材の確保・育成  技術基盤を維持し研究開発を推進していくため、人材の確保・育成を図ることが必要。</p> <p>国際協力  国際貢献としての科学技術の成果を国際的な移転、並びに国際貢献及び効率化の観点からの国際共同研究への参加は有意義。</p> <p><b>成果の普及促進</b></p> <p><b>開発成果の普及・導入の際の社会的、制度的状況を踏まえた上での研究開発への取組みが必要。</b></p> <p><b>産学官の役割分担、連携</b></p> <p><b>エネルギーシステムの効率的な開発推進には産学官の役割分担、連携が必要。</b></p> <p><b>省庁間の連携による効率的推進</b></p> <p><b>省庁横断的課題には、省庁間の連携による効率的な取組みが必要。</b></p> <p><b>基盤及び他分野の開発成果の活用</b></p> <p><b>基盤及び他分野の要素技術の開発成果のエネルギーシステム開発への積極的な活用に留意すべき。</b></p>
<p>推進目標</p>	<p>供給、輸送、変換、消費のエネルギー・トータルシステムの変革をもたらす研究開発  .....。</p> <p>エネルギーインフラを高度化していくため必要な研究開発  .....。</p> <p>エネルギーの安全のための研究開発  .....。</p> <p>エネルギーを社会的・経済的に評価・分析する研究  .....。</p>

